

平成 29 年度地域循環圏・エコタウン低炭素化促進事業の 事業概要について

- 「地域循環圏・エコタウン低炭素化促進事業」は、地域における 3R の推進とエネルギー起源二酸化炭素の排出抑制を同時に推進することを目的に、地域資源の循環利用及び低炭素化に資する取組を促進する事業。
- 高度な地域循環圏の形成やエコタウン等における 3R 事業に取り組む自治体・民間団体を対象に、実現可能性調査 (F/S) 又は同調査を踏まえた事業化計画策定に要する経費 (の一部) を補助するもの。

<補助対象>

- ① 低炭素な地域循環圏の形成を図るための事業の実現可能性調査 (F/S) 又はその事業化計画の策定を行う事業

比較的身近な循環資源 (生ごみ、紙ごみ、プラスチック、剪定枝等) を対象とし、比較的狭い区域 (地区・街区～複数市町村) で行う 3R 事業であり、食品ロス削減や容器包装の削減といったリデュース、使用済み物品やびん等のリユース、有機系廃棄物やプラスチックの再資源化などを通じて、CO2 削減効果が認められるもの。

- ② 低炭素なエコタウン形成を図るための事業の実現可能性調査 (F/S) 又はその事業化計画の策定を行う事業

・金属系循環資源や化石系循環資源、土石系循環資源などを対象として、比較的広域的に行う 3R 事業
・太陽光パネル、蓄電池、その他の廃電気電子機器等の 3R 事業
・港湾やストックヤード等の活用を通じて静脈物流の効率化に資する事業
・海外で発生した循環資源を輸入し、国内でリサイクルする事業
などを通じて、CO2 削減効果が認められるもの。

- 今年度は 18 件 (地域循環圏事業 16 件 (うち 3 件は昨年度から継続)、エコタウン事業 2 件 (うち 1 件は昨年度からの継続)) を採択。うち以下の 4 事業を「重点事業」とし、各 WG において、特に重点的に助言及び進捗管理を実施。

<地域循環圏高度化 WG 分>

- (ア) 使用済みキノコ培地を活用した発電事業 (長野県中野市)
- (イ) 使用済み紙おむつの再資源化 (鹿児島県志布志市)

<エコタウン高度化 WG 分>

- (ウ) IoT を活用した収集運搬システムの最適化 (神奈川県川崎市)
- (エ) 都市ごみ焼却灰中の貴金属の回収と低クロム鉄スクラップのセメント原料化 (太平洋セメント)

事業計画申請書の内容に基づき、事務局が整理。

NO	2年目	区分	重点事業	申請者	実現可能性調査の内容
1	●	エコタウン	●	川崎市 経済労働局国 際経済推進室	①次世代型焼却炉の導入による産業廃棄物からの金属資源回収と高効率発電の実施。 ②IoTを活用した産業廃棄物収集運搬の最適化。
2		エコタウン	●	太平洋セメント 株式会社	①都市ごみ焼却灰中に含まれる貴金属の回収。 ②低クロム鉄スクラップのセメントの原料化。
3	●	地域循環圏		京都府 環境部循環型 社会推進課	超好熱菌を活用し、食品系廃棄物から水素を取り出し、燃料電池に利用。 2か年事業でH28年度は賦存量の把握と事業の概略設計、H29年度は事業化計画の策定。
4	●	地域循環圏		神戸市 環境局事業系 廃棄物対策部	市内の食品系廃棄物や剪定枝などより、バイオークスを製造し、地域エネルギーの循環を促進。 2か年事業で、H28年度はコーヒー豆、H29年度は剪定枝などを加えた導入技術の実証試験と事業化の調整。
5	●	地域循環圏		神戸市 環境局環境政 策部資源循環 政策課	市民モニター200世帯で食品ロス発生要因を調査分析し、10g/人の食品ロス削減を実現するためのアクションリスト等の方策を作成。 2か年事業で、1年目は冬、2年目は夏に調査を実施。
6		地域循環圏	●	長野県中野市 経済部農政課	使用済みきのご培地(剪定枝、オガコなど)を主とする地域未利用資源の乾留ガス化による電力利用。
7		地域循環圏	●	鹿児島県志布 志市 市民環境課	大隅半島4市5町における使用済み紙おむつの再資源化。
8		地域循環圏		船井郡衛生管 理組合	一般廃棄物をメタン化し、メタン及び廃食用油から水素を精製。
9		地域循環圏		北海道茅部郡 森町 (共同事業者: 太平洋セメント 株式会社)	ホタテの貝殻および付着する有機分を活用し、セメントの原料(石灰石)及び代替燃料への利用。

NO	2年目	区分	重点事業	申請者	実現可能性調査の内容
10		地域循環圏		京都府環境部循環型社会推進課	IoTを活用した下水汚泥の収集運搬ルート効率化等を検討。
11		地域循環圏		沖縄県環境部環境政策課	・サトウキビの搾りかす及び酒粕等のバイオプラスチックの利用可能性。 ・酒粕や厨芥類等のメタン発酵発電及び建設廃材からの木質バイオマス発電。
12		地域循環圏		ヤンマー株式会社 技術企画部戦略G	農産物残さをコジェネレーションの排熱を利用し、減容化。
13		地域循環圏		株式会社クレハ 環境技術開発本部	事業系一廃、産廃をメタン化と焼却により、熱電エネルギー、消化液を地域で活用する方策を検討。
14		地域循環圏		楽しい株式会社	焼却していた成果物残さから特殊肥料を製造し、農家に販売。
15		地域循環圏		公益財団法人 Save Earth Foundation	収集した一般廃棄物のうち、有機分は肥料化し、プラスチック類はRPF化。
16		地域循環圏		三菱UFJリース株式会社 (共同事業者: パシフィックパワー株式会社)	養豚のふん尿を利用しバイオガス発電を行い地域で活用。
17		地域循環圏		社会福祉法人 勇樹会	高齢者福祉施設から出る紙おむつと木質系廃棄物を合わせてペレット燃料を製造。
18		地域循環圏		横浜市資源リサイクル事業協同組合	横浜市内でリユースびんの製造、回収、洗浄、飲料充填を行うリユースシステムを形成。